

# シェルムーン5型 光電センサー付 スチール電動シャッター本体取付けマニュアル

## ⚠️ 安全にお使いいただくために

●本マニュアルでは、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため、次のような絵表示をしています。



**注意**

取扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。

**お願い**

「必ず行っていただくこと」を示しています。

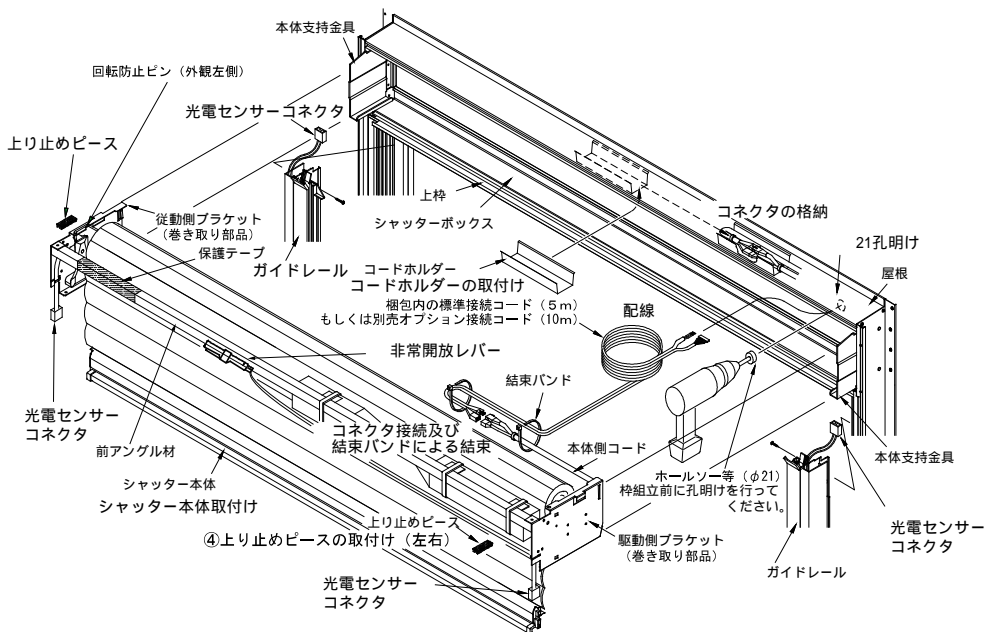
●本製品の明細は以下の通りです。

シャッター本体 x 1、操作スイッチ x 1、化粧プレート x 1、標準接続コード（電源線5m x 1、信号線5m x 1）取付部品セット（コードホルダー x 1、上り止めピース x 2個、結束バンド x 2）電気工事マニュアル x 1、お取扱いの手引き x 1、シャッター本体取付けマニュアル x 1

●その他の梱包

ガイドレール、ボックスカバー、枠、障子、網戸、赤外線リモコン増設ユニット（別売オプション）接続コード10m（別売オプション）

## 取付け手順概要（各手順の詳細説明は別途）



- ① シャッターボックス内の仕上材（MDF）への孔明け（φ21）
- ② 接続コードの配線（接続コードは電源線と信号線の2本コードを配線します。）  
コードホルダーの取付け  
スチール電動シャッター本体の取付け及び上り止めピースの取付け
- ⑤ ガイドレール（注：別売、別梱包）の取付け及び光電センサーコネクタの接続  
接続コードと本体側コードのコネクタ接続及び結束  
コネクタ部分のコードホルダーへの格納

お願い

各手順の詳細説明を必ずご確認の上作業してください。

お願い

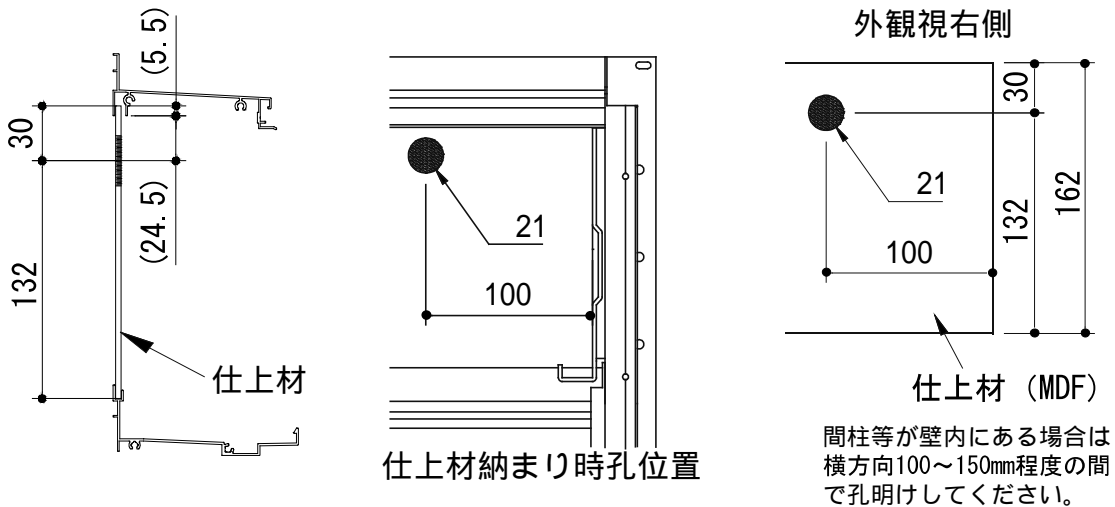
別売オプションの接続コード10mをご使用になる場合は、シャッター本体取付け前にご用意ください。

⚠ 注意

不具合の原因になりますので接続コード（信号線側）は継ぎ足さないでください。

## 手順 1 : シャッターボックス内の仕上材（MDF）への孔明け

シャッターボックス内の仕上材に、下図に示す位置 21の孔を明けてください。

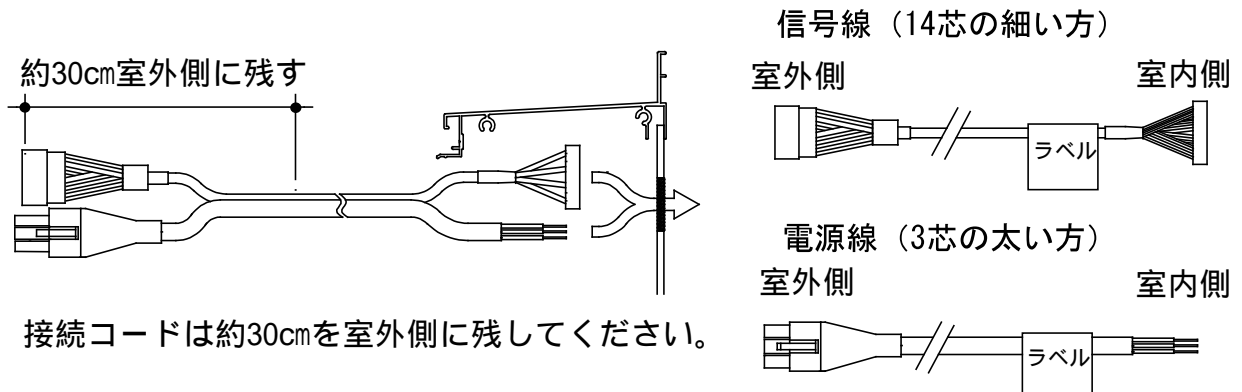


お願い

孔明けはホールソー等を使用してきれいに明けてください。  
きれいな丸円が明かない工具での孔明けはお止めください。

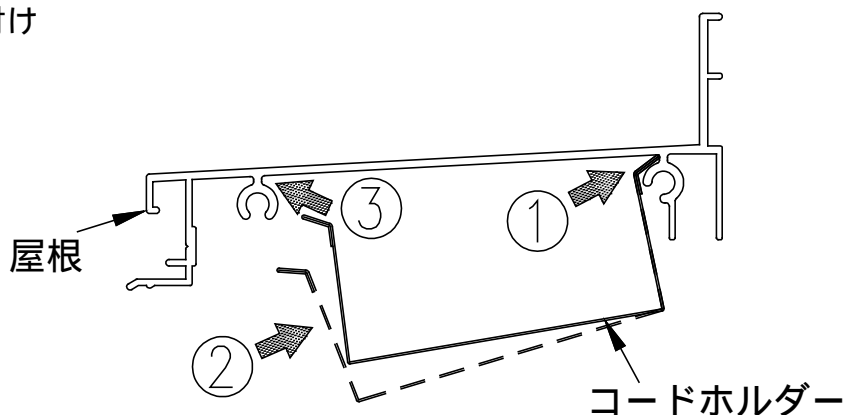
## 手順 2 : 接続コードの配線（電源線と信号線の配線）

手順 1 で明けた孔に、接続コードを室外側から室内側に向かってコネクタ部分から孔に挿入していきます。



### 手順3：コードホルダーの取付け

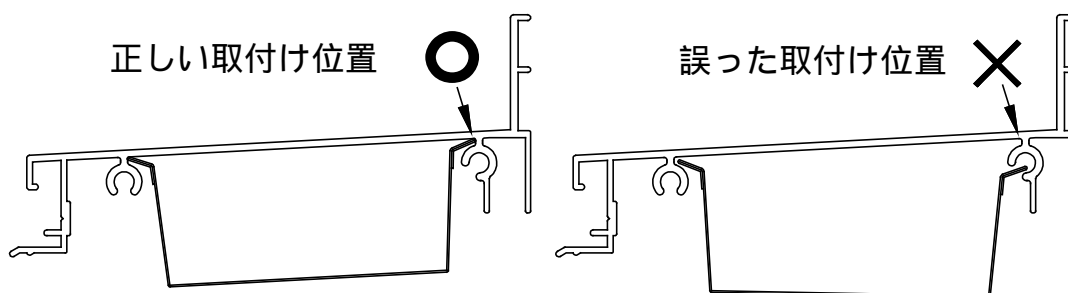
奥のつめを屋根にセット  
コードホルダーを指で軽く室内側に向かって軽く押す  
手前のつめを屋根に取付け



注意

コードホルダーの奥のつめは正しい位置に取付けしてください。(下図)

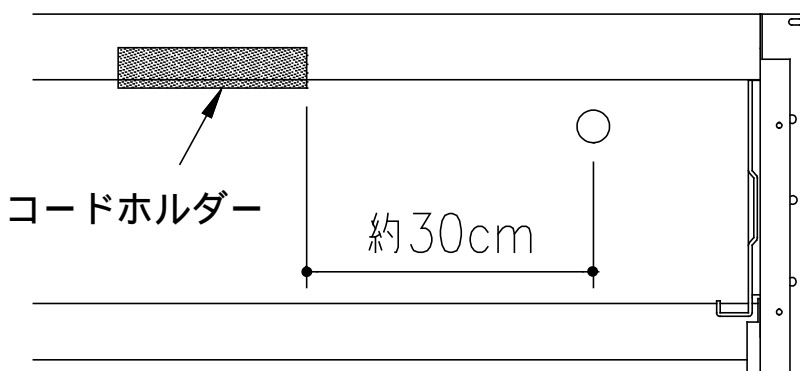
誤った位置に取り付けられますと、コードホルダーが脱落し、不具合の原因となります。



嵌め合わせが弱い時は、コードホルダーを手で広げてください。



取付け後、コードホルダーをスライドさせて、接続コードの通し孔から約30cmのところを取付けしておくこと、後の作業がしやすいです。



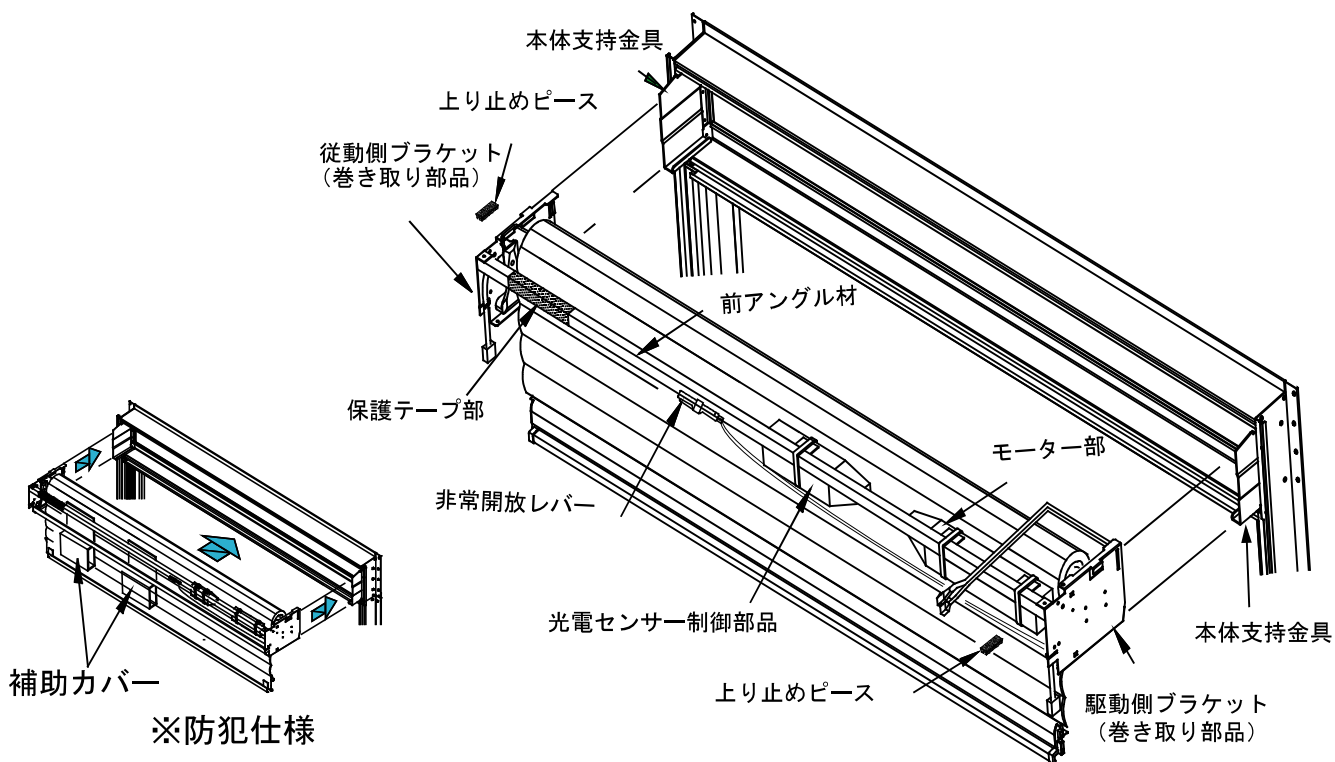
## 手順4：スチール電動シャッター本体の取付け 及び上り止めピースの取付け

**⚠ 注意** 開梱作業及び取付け作業は、必ず2人以上で行ってください。

シャッター本体の前アングル材の両端部を持ち、開梱作業及び取付け作業を行います。

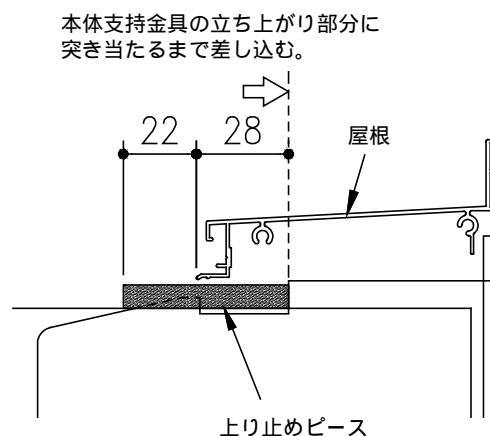
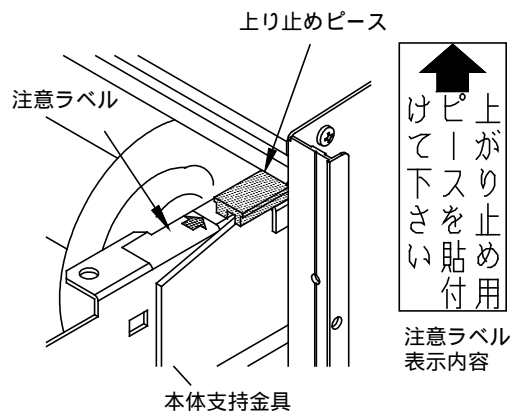
(前アングル材は必ず保護テープ部とモーター部のみを持ってください。中央部側を持つとアングル材が変形します。)

下図の様に左・右のブラケットを、それぞれ左・右の本体支持金具へ差込みます。

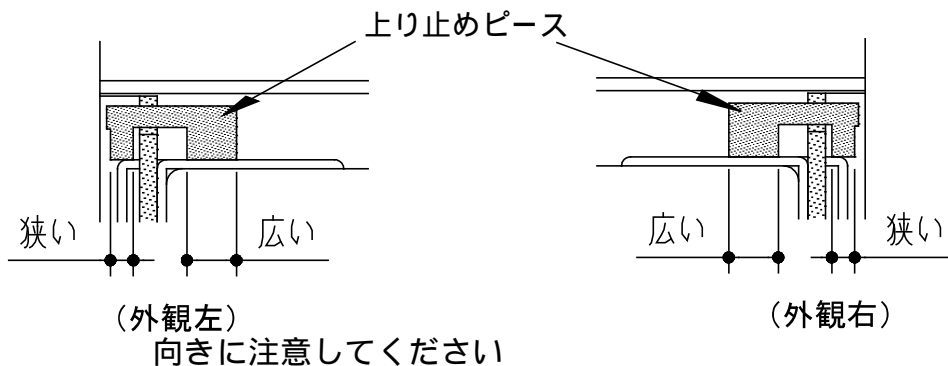


本体取付け後、上り止めピースを左右巻き取り部品と屋根との隙間に取付けます。上り止めピースの離型紙をはがし、溝が本体支持金具をまたぐようにして、奥に突き当たるまで差し込みます。

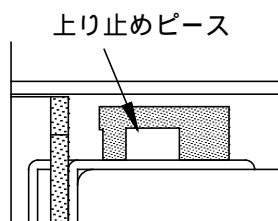
(目安として屋根の先端部から上り止めピースの先端まで22mm)



○ 上り止めピースの溝が本体支持金具をまたいでいる。



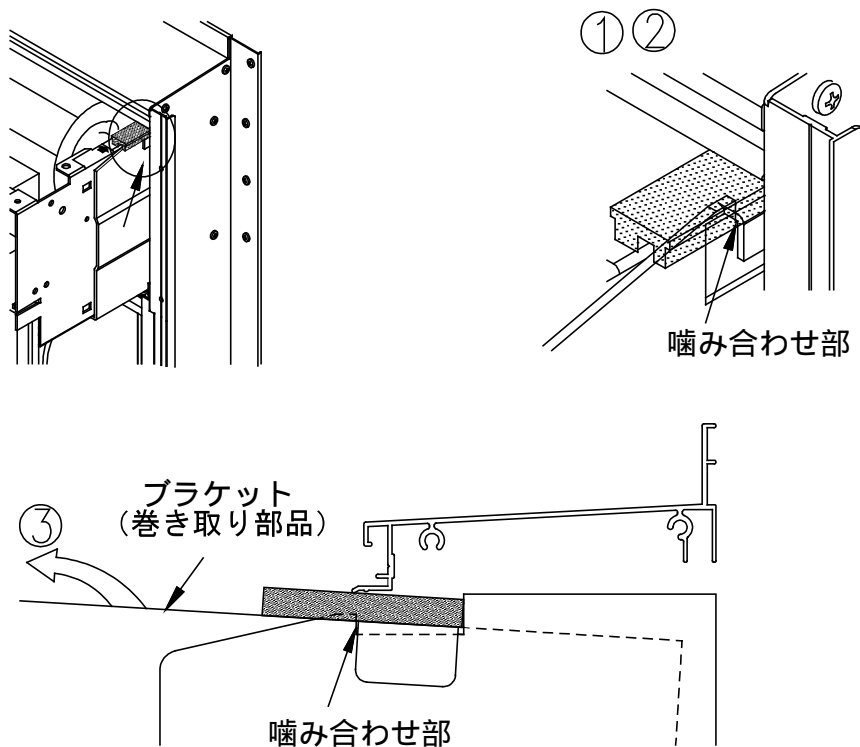
✕ 上り止めピースの溝が本体支持金具をまたいでいない。



お願い 本体取付け後に以下の確認を必ず行ってください。(下図)

本体支持金具の上端切り欠き部とブラケットの金具上端突起部が噛み合っていること。  
上り止めピースが本体支持金具をまたいで、奥まで確実に差し込まれていること。

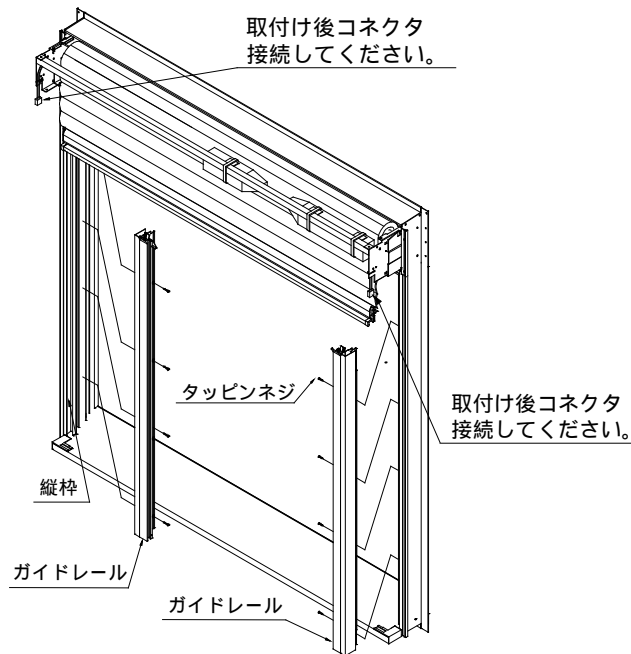
③ブラケット（巻取り部品）の前方部分を持ってシャッター本体を持ち上げて外そうとしても、本体支持金具との噛み合わせ部分を乗り越えられずに外せないこと。



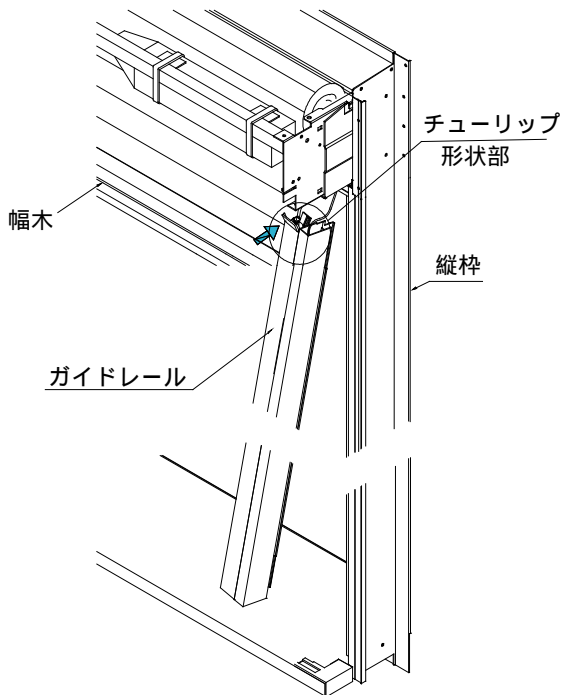
## 手順5：ガイドレール（注：別売・別梱包）の取付け 及び光電センサーコネクタの接続

### 取付概要

左右のガイドレールを添え付けのネジにて縦枠に固定します。

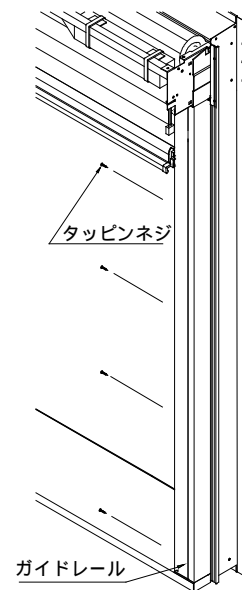


- ①ガイドレール上部（チューリップ形状部）を幅木に合わせて差し込みます。



ガイドレールを縦枠に嵌め合わせる際に、下枠部を傷付けない様に取付けて下さい。

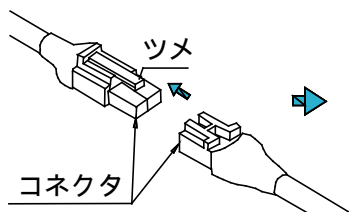
ガイドレールを縦枠に嵌め合わせ、ビスで固定します。



ガイドレールと縦枠が完全に嵌め合されていることを確認してからビスで固定してください。  
(断面図 参照)

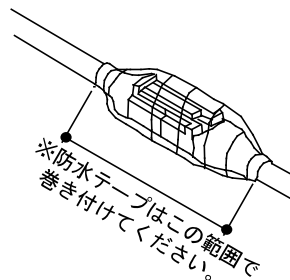
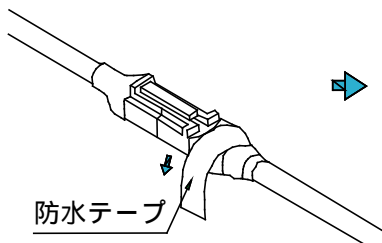
## 光電センサーコネクタの接続

下図のようにコネクタを接続し、付属の防水テープをコネクタに巻いてください。



コネクタのツメが掛かっていることを確認してください。

防水テープはコネクタのツメ側から巻いてください。逆から巻くとコネクタの接続部が外れやすくなります。防水テープを巻く時は、テープを張りながら巻いてください。防水テープは本体に同梱されております。

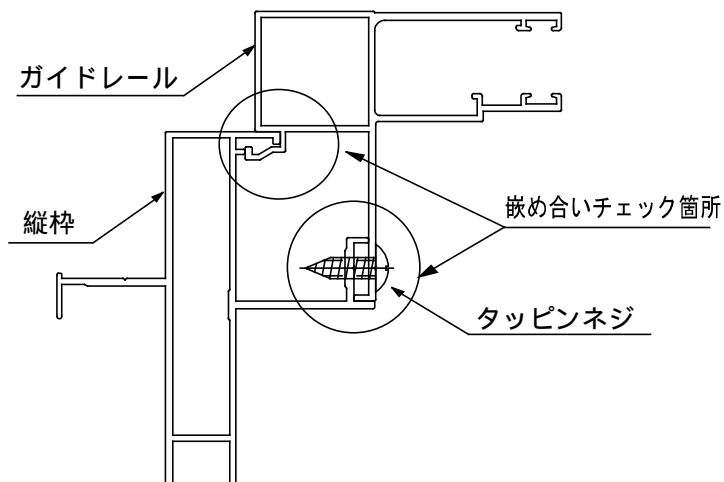


**お願い** 漏電や光電センサーの誤作動等を防ぐため、防水テープは確実に巻いてください。

## ガイドレールの取付 (断面図)

**お願い** 右図のようにガイドレールと縦枠が完全に嵌めあわされていることを確認してからビス止めしてください。

嵌め合わせが不完全だとシャッターの作動不良の原因や性能上支障が出る恐れがあります。

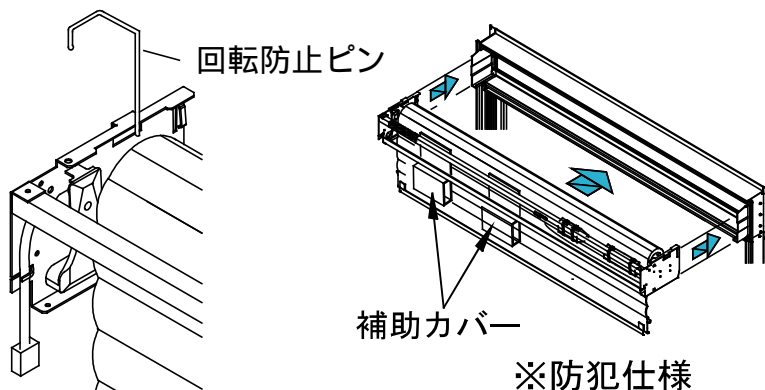


## 回転防止ピン

ガイドレール取り付け終了後、回転防止ピンを抜いてください。

**お願い**

回転防止ピンはガイドレール取付け完了後に抜いてください。



防犯タイプはガイドレール取付完了後に補助カバーを外してください。

## 手順6：接続コードと本体側のコネクタ接続及び 結束バンドによる結束

非常開放レバーでロックを解除して、手動でゆっくりとシャッターを下降させた後、接続コードと本体側コネクタを接続できる作業スペースを確保します。

非常開放レバーのロック解除方法



前アングルから非常開放レバーを外します。(結束バンドは切らないでください)

レバーを180°回転させるとロックが解除されます。

非常開放レバーはシャッター本体取付終了後元の位置に先に固定されていた結束バンドで固定してください。

本体側コードと接続コードのコネクタを接続してください。

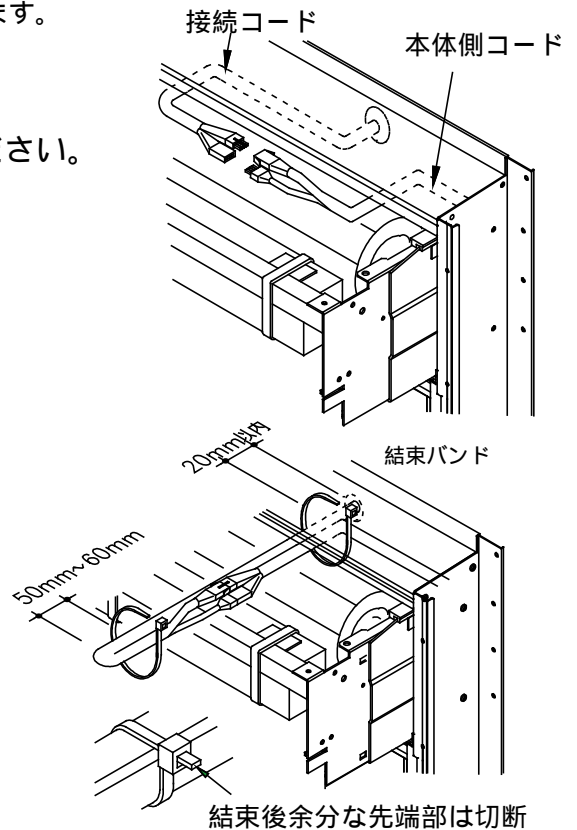
お願い

コネクタのツメ部がしっかりと噛み合うように接続して下さい。

接続コードと本体側コードをまとめて付属の結束バンドにて右図の2箇所を結束します。結束後、余分な結束バンドの先端部は切断してください。

お願い

結束コードが躯体に入り込まぬようにしっかりと結束してください。



## 手順7：コネクタ部分のコードホルダーへの格納

手順3で取付けておいたコードホルダーをスライドさせてコネクタ部分を納めます。

コードホルダー  
スライドさせる

この部分のコードがたるまないように取付ける。

以上で本体の取付けが完了です。

本体取付完了の後に、シャッターボックスカバー、操作スイッチを取付けて仮設電源にて作動確認（初期設定）と光電センサーの動作確認を行ってください。

※ボックスカバーの取付け方法はシェルムーン5型ボックスカバー取付けマニュアル（マニュアル番号MN-1288）を参照してください。

※作動確認（初期設定）と光電センサーの動作確認の方法は、シェルムーン5型アルミ電動・スチール電動 電気工事マニュアル（マニュアル番号MN-1388）を参照してください。